

「合理的配慮の提供」を効果的にするための 個別の指導計画の作成（その2）

前号（NO, 7）に引き続き、「合理的配慮の提供」が効果をあげる個別の指導計画を、事例に基づいて作成してみましょう。[合理的配慮の提供の例（1次支援から3次支援）](#)については、これまでの通信NO, 2～No, 6を参考にしてみてください。

その他、参考になる資料

○個別の教育支援計画、個別の指導計画の書式例はこちら

千葉県特別支援教育のページへG。!

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shien/tokubetsushien/gouritekihairyo.html>

○合理的配慮のデータベースはこちら

国立特別支援教育総合研究所のホームページへG。!

<http://inclusive.nise.go.jp/>

○ユニバーサルデザインの視点を生かした学校環境づくり、授業づくりの実践例はこちら

千葉県総合教育センター特別支援教育部のページへG。!

https://db.ice.or.jp/nc/?page_id=49

「個別の指導計画」は一人ひとりが輝くためのツールです!!

☆事例Bさんについて

Bさんは、通常の学級に在籍している小学校1年生です。

知識が豊富で、学習はよく理解できていますが、先生の話をしっくり聞くことや学習用具を整えることなどは苦手で、忘れ物も多くあります。

作業がうまくいかなかったりテストやプリントで間違いがあったりすると、物を投げ、机をひっくり返すなどして暴れてしまいます。また、友だちに向かっていくこともあるので目が離せません。友だちとは誘われれば遊びますが、自分から声をかけることはありません。

保護者は、友だちとのかかわり方がうまくなってほしいと感じています。担任はBさんが持っている力を活かし、落ち着いて学校生活を送れるように願っています。

※この事例は、千葉県の特別支援教育「個別の教育支援計画」作成の手引きのページから引用しました。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shien/kobetunokyousienkeikaku.html>



1年〇組 児童生徒氏名 Bさん		の個別の指導計画			
◇生育歴					
・〇〇幼稚園 卒園（平成〇〇年〇月）					
◇支援が必要だと思われる状況					
・うまくいかないことや困ったことがあると、怒って暴れてしまうことがまだ多い。					
・友だちがいない、仲良く遊べないようだと保護者は心配している。					
◇これまでの取組					
・混乱して暴れているときには、安全を確保し、落ち着くのを待ち、その後よく話を聞く。					
・できていることを認め、間違ふことはだれにもあることを繰り返し伝える。					
◇他機関での支援					
・〇〇病院（〇〇医師）に〇か月に1回通院し、Bさんについて医療相談を受けている。					
・〇〇教育研究所に依頼し、Bさんの心理検査、保護者のカウンセリングを行った。（平成〇〇年〇月〇日）					
・〇〇小学校通級指導教室（担当□□教諭）に週〇日通い、ソーシャルスキルトレーニング等を行っている。 （平成〇〇年〇月〇日開始）					
本年度の目標（28年度）					
1. わからないことや困ったときに、その場に応じた言葉で伝えることができる。					
2. 学習中のルールを理解し守ることができる。					
短期目標（28年度：9月～12月まで）					
	現 状	目 標	主な支援方法・内容	経過(記入日記載)	評価と課題(記入日記載)
生活面	○落ち着いているときでも、コミュニケーションがとりにくい。 ○特定の仲良しはいない。一人であることが多い。誘われないと遊ばない。	○「貸してください」「どうやるの?」と言葉で伝えることができる。	○「貸してください」「ありがとうございます」など、ことばで相手に伝える練習を、必要に応じて学級全員でする。 ○できたことをたくさんほめる。	○スムーズではないが、人に頼んだり、お礼を言ったりできるようになってきた。 (〇月〇日記載)	○1月から、友だち関係の改善などについても取り組んでいきたい。 <u>12月〇日、〇〇小学校通級指導教室担当教諭からアドバイスを受ける予定</u> である。 (〇月〇日記載)
学習活動面	○授業中に離席したり時々わけがわからなくなつて暴れだしたりする。 ○どの教科も理解力はあるが、思い込みで取りかかり、混乱することがよくある。	○着席して、授業に参加する。	○ <u>1日の予定や学習中のきまり</u> を掲示する。 ○予定の変更は事前に、 <u>視覚的にわかりやすく伝える</u> 。 ○ひとつの課題が終わったら、 <u>次に何をやるのか見てわかる</u> ようにしておく。	○作業前に間違いやすいところを説明したので、思い違いで失敗することがなくなった。 (〇月〇日記載)	○授業の流れがわかったことで、 <u>離席することがなくなった</u> 。 ○期待した結果にならないと怒るが、 <u>あまり乱暴なことはしなくなった</u> 。 ○速くやろうとあせってしまい、うまくいかないことがまだある。 1月からは <u>課題の量や提示の仕方を調節</u> する。 (〇月〇日記載)

詳しくは、通信 No.3へGo!
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/kj-katsunan/documents/tokusituusin3-2.pdf>

提供した合理的配慮の成果について、必ず評価を行い、課題に対する今後の方向性を検討します。